

政治資金残りあと

104,171円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

前回までの残高	339,177円
収入 自己資金	200,000円
支出	
印刷代（月刊武松印刷代）	83,914円
交通費（駐車場、燃料代）	37,020円
供託金（立候補費用）	300,000円
通信費（携帯電話、雑費）	14,072円
収支計 03/2/2～03/4/13	－235,006円

市政を考える

月刊武松

発行日

03/4/14

第43号

7500部発行

たけまつ

ただし

頒布責任者：武松 忠

武松政策研究会

(株)アミーおだちかに出資！？

3月補正予算で3000万円出資

おだちかという、工事中の駅前広場、完成後の抽選会（特賞がマカオ旅行？）や、友人と待合わせをしたこと等を思い出します。しかしここ数年は、利用したことがありませんでした。

月刊武松31号で地下街概要を書いたので割愛しますが、民事再生法の経緯と新会社の解説をします。

■民事再生法から新会社(株)アミーおだちか設立まで

昨年7月に民事再生法の申し立てをし、本年1月20日に、再生計画案が提出されました。

市議会では、3月3日本会議にて(株)アミーおだちかへの3000万円の出資について補正予算を採択し、3月5日の債権者集会に間に合わせました。

■負債内容と清算のための再生計画案

負債総額は約18億円で、金融機関からの借入金約5億4千万円は、主要株主の箱根登山鉄道が債務保証をしており弁済しました。

再生計画では、箱根登山鉄道や鉄道弘済会、小田急電鉄などの小田原地下街の主要株主が合計14億円拠出し、共益債権、優先債権を弁済したうえで、取引先41社の債権総額約8億6千万円の7割を3月末に一括弁済するという**清算のための再生計画**でした。

市出資の2400万円は戻りませんでした。

■(株)アミーおだちかの設立の目的及び概要

県西地域の交通結節点である小田原駅に至便な距離に位置する、県西唯一の地下街商店街として既存商店街等と一体となって**小田原市の商業振興に寄与するために必要な事業を行うこと**を目的とする。

小田原地下街(株)の事業を継承し、その継続・発展を図るためテナント運営やタバコの販売、その他関連事業を行う。

資本金 6500万円

小田原市 3000万円、商工会議所 2000万円

さがみ信金 1000万円、その他 500万円

役員

取締役社長 原義明（商議所会頭、小田原瓦斯(株)社長）
取締役 廣澤富正（商議所名誉会頭、魚市場会長）
取締役 井上久嘉（商議所副会頭、(株)報徳会長）
取締役 青木正次（小田原市助役）
監査役 秋山勝（秋山会計事務所）
いずれも無報酬。旧経営陣はいない。

■なぜ破綻したか？

市側の説明では、リフォームの借入金と売上減によるテナント料収入減によるものであるとのことでした。決してテナントが撤退して経営が破綻したのではなく、**運営会社の経営上の問題であった**ということです。

■新会社の経営が上手くいくのか？

新会社の経営は、「借入金の負担がなくなれば、健全な経営ができるはず。」というものです。今後過度な投資をすれば同じ道を歩むことになります。

■なぜ市が筆頭株主にならなければならないのか？

なぜ市が筆頭株主として3000万円出資しなければならないかということ、地下街に進出しているテナントの事業継続の要望と、あれだけの公共施設（中央通路は市道）を民間に譲渡させる訳にはいかないという政治判断が働いたものだと思います。

■地下街の将来は…？

駅ビル（詳細は未定）建設や、お城通り再開発事業（現東口臨時駐車場）など、すぐ近くで大規模事業が計画されています。

また、民間の受け皿会社が現れなかったことや、駅ビルの詳細計画の発表の遅れなどからすると**樂觀できる状態ではありません**。

経営状態をチェックし過度な投資を抑えることとこの際みんなで、**知恵を絞って活気あるもの**にしていかなければなりません。

スパウザのその後

平成15年度予算では、調査費が計上されました。（取得購入費は、計上されませんでした。）

調査費の内容は野村総合研究所にスパウザの経営診断と公募についての調査を依頼したものです。

現在それに基づき、事業提案競技の公募が行われ、業者が13社登録、締切りまでに9社が事業提案を提出しました。

事業提案競技の主な条件

- ・新たな健康・交流をテーマとして、市民・国民が楽しめる複合型のサービスを行うこと。
- ・風俗営業施設を導入してはならない。
- ・施設の管理運営・維持補修等は大規模修繕を除き民間事業者が直接行う。

- ・現在の正規従業員の再雇用に最大限の配慮をする
- ・平成16年2月1日より貸付
- ・貸付料 年額4億3千万円以上
- ・保証金 貸付料の6ヶ月分 契約満了時に返還
- ・貸付期間 5年（更新することができる。）等

今後は、

4月下旬 予備審査結果発表

5月中旬 予備審査通過者によるプレゼンテーション

5月下旬 交渉順位決定と事業基本計画の協議という予定になっています。

市長からは、公募参加者がなかった場合には購入しない旨の発言がありましたが、今回9社の提案があった事で、行政側のスパウザ取得がほぼ固まりました。

The Voice 今までに頂いたご意見から

政治資金 4年間でいくら使ったの？

支出

月刊武松の発行代	953,042円
交通費（燃料、駐車場）	400,246円
宣伝広告費（選挙準備）	68,985円
雑費（文具、備品代）	39,397円
通信費（携帯電話、郵送費）	398,021円
調査研究費（会場費等）	13,100円
供託金（選挙準備）	300,000円
支出計	2,173,101円

収入

寄付	552,000円
自己資金（一部政務調査費含）	1,725,272円

その他収入として、公費負担の調査研究費（平成11年度27万円、12年度60万円）、政務調査費（平成13、14年度各60万円）合計207万円があります。

当選すれば供託金の30万円は戻ってくるとしても、これ以外に議員同士の交際費や会合費、パソコンの購入費、慶弔費、視察先での支出等を含めると、2百数十万円は加わります。

4年間で、500万円近くを使っていることになります。副業がある方や、既に年金需給資格を得た方はいいとしても、若い候補が出にくいのはこうした現状もあるのだと思います。

市議会議員選挙は4月27日！

不在者投票は、4月20日～26日まで、マロニエと市役所で行うことができます。

選挙事務所は巡礼街道の東端です。Tel 45-0003 Fax 45-0128
事務所開き及び出陣式は行いませんが、お気軽にお越しください。なお、陣中見舞いのお酒類は公職選挙法により受け取ることができませんのでご承知おき下さい。

ホームページでは、日刊武松（日記）や、月刊武松のバックナンバー、一般質問の会議録も見ることができます。YAHOO!で「武松忠」または、「たけまつただし」と入力すると検索できます。

URL <http://www6.airnet.ne.jp/takematu/>

i-mode <http://www6.airnet.ne.jp/takematu/i.htm/>

月刊武松は本人が配布しているため、行き届かないところがありますが、読み終わりましたら知合いの方にお渡しいただくと幸いです。



市議会議員
たけまつ ただし
武松 忠
無所属
37歳
小八幡在住
妻と一男二女

小田原市立国府津小学校卒
小田原市立国府津中学校卒
神奈川県立西湘高等学校卒
東京職業訓練短期大学校電気課卒
昭和61年4月 日本真空技術(株)入社
平成11年5月より現職 1期目
平成11年6月 日本真空技術(株)退職
政治活動に専念、収入は議員歳費のみ